

ボートレースのさまざまな情報を効率的にお客様に提供しながら、スピード感にあふれる大迫力の実況映像も放映する4K UHD液晶ディスプレイ。

## 導入の経緯

### ●リニューアルを機に映像表示機器を全面更新。

ボートピア神戸新開地様は、主にボートレース尼崎、ボートレース住之江の場外発売所として1999年4月にオープン。2014年11月にリニューアルを行われ、当社製4K UHD液晶ディスプレイ30台を核とした館内映像配信システムを採用いただきました。

### ●高画質な大画面映像に高い評価。

ボートピア神戸新開地様はオープン当初より、「お客様に迫力の大画面映像を提供して、レース観戦を満喫していただく」というサービスに強いこだわりをもって運営されており、今回のリニューアルにおいても、「大画面」と「高画質」は不可欠な条件でした。複数ディスプレイでのビデオウォール構築も検討されましたが、レース実況映像の臨場感を特に重視したいという考えから、98V型大型ディスプレイの導入を決定されました。

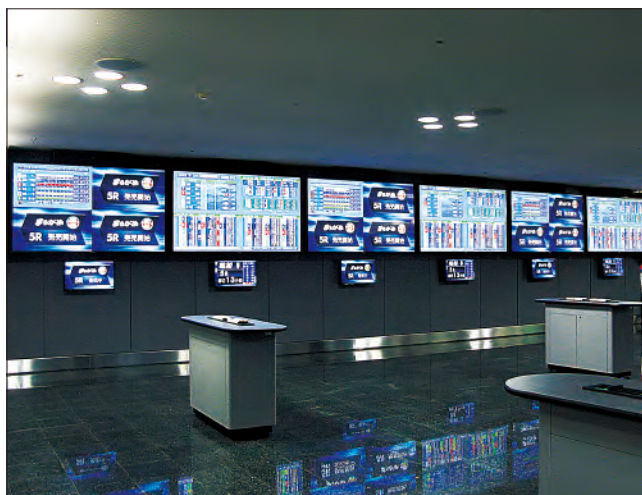
当社LQシリーズは、独自の画像処理技術（ディティールクラリタイププロセッサ 3）により、HD映像をさらに高画質で表示できることが高く評価されました。

### ●ユーティリティの高さも採用のポイント。

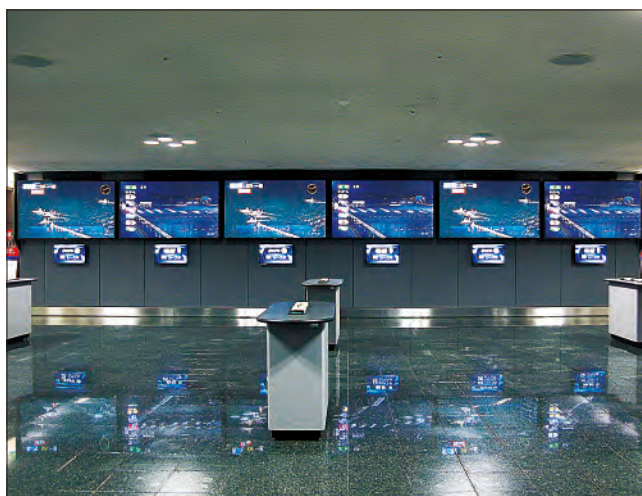
今回のリニューアルに際して大きな目玉となったのが、1日最大で6箇所でのボートレース場を放映するという点でした。そのため、6場それぞれの展示航走やボートの調整状況、舟券のオッズなど、数多くの情報を的確にお客様に提供する必要があります。

LQシリーズは、1台のディスプレイに4つのHD映像を同時表示する「4入力マルチ画面表示」機能を搭載しており、多様な情報を効率よく提示できる表示方法として、この点にも高い評価をいただきました。

これらのポイントを踏まえTH-98LQ70Jの採用を決定いただき、1フロア6台×5フロア（+予備1台）合計31台を導入いただきました。



▲壁面に並んだ6台の98V型ディスプレイ。レースのスタート前は多彩な情報を隈なく掲示。ディスプレイの下には小型のモニタを設置して、放映されているボートレース場名や当該レースの締め切りまでの時間などを表示。



▲レースが始まると実況映像を1画面で表示。当社独自の画像処理技術により、スピード感あふれる迫力の大画面映像でレースを観戦できる。

## ボートピア神戸新開地様のプロフィール

●所在地 兵庫県神戸市兵庫区新開地4丁目6番地19号 ●URL <http://bpks.jp/>



プライベート空間でレースを存分に楽しめる、個室タイプの有料席も用意されている。

### 神戸の繁華街に位置するボートレース場外発売所。

ボートレースは全国24箇所のボートレース場で開催される公営競技で、その売上金の一部は、国内外の公益・福祉事業やボランティアの支援事業に役立てられています。舟券を販売されているボートピア神戸新開地様は、「映画のまち」としても知られる神戸・新開地に位置しており、周囲には映画館や演劇場などの娯楽施設も並んでいます。最寄り駅から徒歩1分という恵まれた立地のビルには、観戦スペースが6フロアあり、レースをじっくりと楽しめる環境を整えられています。

## システムの紹介

### ●複雑で種類の多い情報を効率良く、わかりやすく掲示。

ボートピアでは舟券を購入されるお客様に対して、●さまざまな舟券のオッズ（購入した舟券が的中した場合に支払われる払戻金の倍率） ●各ボートの調整状況 ●ボートレース場の水面状況 ●過去の競走成績 ●展示航走（練習レース）など、多彩な情報をわかりやすく提供する必要があります。また、これらの情報はレース開始直前まで絶えず変動するため、短時間で効率的に情報を掲示することが求められます。そこで、ディスプレイ1台に4つの映像を同時に表示できる「4入力マルチ画面表示」機能を使用することで、一度に多くの情報を提供しています。

またボートピア神戸新開地様では、最大で6箇所のボートレース場を発売するため、各ディスプレイの下に小型モニタを設置してボートレース場名を表示。お客様に一目でわかるように配慮したシステムを構築しています。

### ●当社独自の画像処理技術で、大迫力の実況映像を表示。

LQシリーズに搭載の「ディテールクラリティプロセッサ 3」により、HD画質のレース実況映像も、より高画質に表示。疾走するボートのスピード感や跳ね上がる水しぶき、波立つ水面の動きなど、ディテールも鮮やかに、忠実に再現します。

### ●HD-SDI映像により長距離配信を実現。

館内映像配信システムはHD-SDI信号を中心に構築することで、映像信号の長距離伝送を実現。各フロアのディスプレイに送信され、SDI→HDMIビデオコンバータを介してディスプレイに入力されます。各ディスプレイには4つの映像信号が入力され、レース前には情報掲示（4画面表示）、レース中は実況放送（1画面表示）と切り替えて掲示しています。



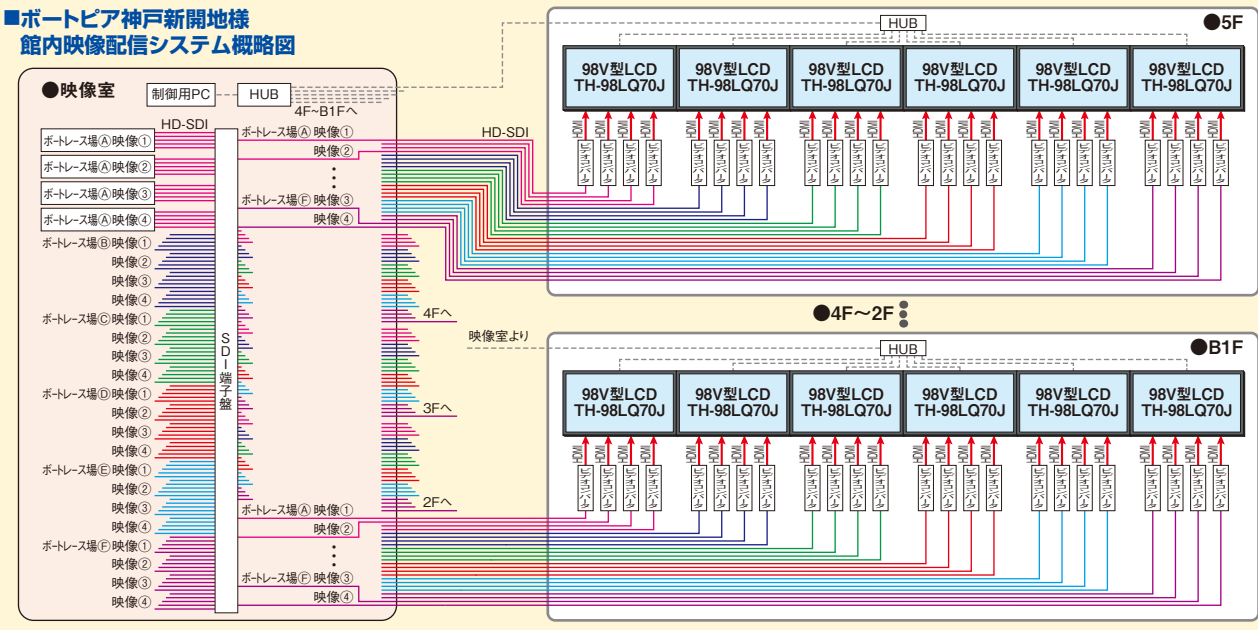
▲(左写真)レース前は「4入力マルチ画面表示」を駆使することで、ディスプレイ1台に多くの情報を表示してお客様に提供。1つの映像がおよそ50V型相当の大きさとなり、細かな文字情報も精細に表示できる。(右写真)レース中は実況映像を1画面で表示。「ディテールクラリティプロセッサ 3」により、動きの速いレース映像も緻密な表示が可能。映像室に設けられた制御用PCと各ディスプレイをLAN接続し、表示の切り替えなどの制御を一元管理している。



### 映像室

◀映像室に設置された確認用モニタには、広視野角の当社製55V型液晶ディスプレイを採用。

### ■ボートピア神戸新開地様 館内映像配信システム概略図



## 導入を終えて

今回、取材にご協力いただきました



神戸新開地ビル株式会社  
取締役 管理部長 小山田 努 様(写真左)  
場外運営部 場長 要 厚志 様(写真右)

### ●お客さまから「きれいで見やすくなった」との声。

新たに導入された4Kディスプレイによる、鮮明で迫力に満ちたレース映像や、精細で可読性の高い文字情報表示は、お客さまから「きれいで見やすくなった。ありがとう。」という言葉をいただくなど、大変に好評を得ているそうで、「お客様に迫力の大きな映像を提供する」という、ボートピア神戸新開地様の強いこだわりを具現化することができました。

また、「4入力マルチ画面表示」を活用することで、映像・情報を一度にお客様に提供できる運用アイデアに、国内ボートレースの映像を一括管理・配信されている株式会社日本レジャーチャンネル様からも強い関心をいただき、当社にて実機デモなどをご覧いただきました。